

熊本市子ども会 ジュニア&ユース・リーダー座談会

子ども会活動を支えるジュニア・リーダーやユース・リーダーの存在を知っていますか？
彼らの活動内容と意義、そしてリーダーたちの成長について語っていただきました。

前畑 克樹
さん

中学1年生

Junior

川内 綾乃さん

高校2年生

Junior

加藤 寧雄
さん

高校2年生

Junior

内田 穂香さん

高校2年生

Junior

社会人

稲田 真莉乃
さん

Youth

積 彩華
さん

社会人

Youth

山本 一郎
会長

市子協会長



きっかけは「憧れ」や「偶然」から ～リーダーとしての第一歩と出会いの物語～

——今日は熊本市子ども会ジュニア&ユース・リーダーの皆さんに集まっていたきました。まずは、ジュニア・リーダー（以下「ジュニアL」）、ユース・リーダー（以下「ユースL」）の活動について教えてください。

加藤）「僕たちジュニアLは、依頼のあった町内の子ども会に行き、レクリエーションを企画・運営したりします。こどもたちが楽しく過ごせるように盛り上げるのが役割です。春や夏にはキャンプもあって、自然の中で体験や遊びを通じて交流します。」

稲田）「ユースLは、ジュニアを卒業した大学生や社会人が担います。ジュニアLの活動を支える、指導者的な立場で活動を支えます。運営や金銭面、施設との調整などにも関わります。」

積）「社会人になると毎月の定例会にはなかなか参加できませんが、キャンプや大会には顔を出します。2年前に熊本で政令指定都市大会があったときは、ユースLが中心になって企画・運営をしましたね。」



—では、皆さんがジュニアLになったきっかけを教えてください。

稲田)「13年前、いここに誘われてキャンプに参加したのが始まりです。『楽しそうだな』くらいの気持ちでしたが、参加してみたらすごく楽しくて。気づけばもう13年続けています。仲間との時間が楽しいからですね。」

積)「私は小学生の頃、子ども会大会で同じ小学校のお姉さんがリーダーとして活躍している姿を見て、『私もあんなふうになりたい』と思ったんです。その憧れがずっと残っていて、中学2年でジュニアLになりました。」

前畑)「市政だよりで偶然見た研修会のお知らせがきっかけでした。『ジュニア・リーダーって何だろう?』と興味を持って参加したら、仲間もできて活動が楽しくなりました。」

内田)「小学3年の時にキャンプに参加したとき、兄がリーダーとして活躍していてすごく楽しそうでした。ちょうど彩華さん(積さん)がチーフをされていて、『かっこいい!私もやってみよう』と思いました。」

加藤)「僕も兄の姿に憧れました。町内子ども会で兄がリーダーをしていて『すごいな』と思ってキャンプに参加しました。実際にやってみたらすごく楽しくて。気づいたら5年も続けています。」

川内)「私は『こどもが好きで関わってみたい』という気持ちがきっかけでした。ジュニアになって小学生と関わる機会が増えたのが嬉しかったし、違う学校の仲間とも出会えたことがとても良かったです。」

◆ きっかけは違っても、仲間ができ、「楽しい!」と思った気持ちは同じですね。

こどもたちと笑顔をつくる ~活動の現場から~

—では、活動のやりがいについて教えてください。

内田)「幼稚園児から高学年まで幅広いこどもたちと接するので、どんな遊びが盛り上がるか考えるのも楽しいです。年齢によって反応が違うので、工夫のしがいがあります。」

加藤)「キャンプでは自分たちで企画して進行するので責任感も身につきます。こどもたちが楽しそうにしてくれると達成感がありますね。」

前畑)「夏キャンプで竹ぼっくり作りをしたとき、初めて会う子とも自然に仲良くなれて距離が縮まるのが嬉しかったです。」

積)「ユースLはジュニアLを見守りながら、必要な場面で助言したり運営を支えたりします。ジュニアLが安心して活動できるようにそっと支える存在です。」

稲田)「ユースになると、ボランティアとしての楽しさだけでなく、金銭面や事務局との調整など、運営の難しさも感じます。でもそれもやりがいですね。」



左から稲田さん(社会人)、積さん(社会人)、前畑さん(中1)



こどもを楽しませるのが好き!という内田さん

——熊本市で開催された政令指定都市大会についても聞かせてください。



ずっと一緒に活動してきた二人の信頼関係が窺えます。

積) 「全国のジュニアLが集まる大会で、ユースLが中心になって運営しました。普段一緒に活動しているメンバー一丸となって準備をし、全国から『連携がすごい』とお褒めの言葉をいただきました。みんなで協力して準備ができたのも、大会が成功したのも、どちらも達成感が大きく、嬉しかったです。」

稲田) 「彼女(積さん)がチーフを務めてくれました。コロナで一度延期になったので、調整も大変だったと思います。すごく健闘してくれました。」

積) 「大規模な大会なので、運営は大変でしたが、参加してくれた子たちから「楽しかった」「学びになった」と言ってもらえたのがすごく嬉しかったです。」

会長) 「全国の指定都市から「熊本はいいね」とお褒めの言葉をいただきました。やっぱりユースLの皆さんが一致団結して、しっかり盛り上げてくれたからこそですね。」

稲田) 「会長との距離が近いっていうのも、よく言われます。」

会長) 「上の世代ともユースLがつながれるし、ユースLとジュニアLもつながれる。そういう組織の一体感があるからこそ、事務局との距離も自然と近くなるんです。みんなと一緒に動いてくれるから、どんな大会でも「熊本はすごいね」と言ってもらえるんです。」



いつもリーダーたちに寄り添ってくれる山本会長

◆ 活動は「子どもと遊ぶ」だけでなく、企画・運営・調整まで幅広いのですね。



令和5年に開催された「指定都市ジュニア・リーダー研修会 inくまもと」ユース・リーダーを中心に、ジュニア・リーダーと共に運営